

## 使用の手引き

1. [パッキングリスト](#)
2. [初期セットアップ](#)

## 写真を楽しむ

3. [写真を表示する](#)
4. [写真をコピーする](#)
5. [写真のスライドショーを表示する](#)
6. [写真を削除する](#)

## フォトディスプレイを最適化する

7. [明るさ、言語、設定時間機能を選択する](#)
8. [フォトディスプレイステータスをチェックする](#)
9. [フォトディスプレイをお手入れする](#)

## ヘルプの表示

10. [よくある質問](#)
11. [アフターサービスと保証](#)

## 付録

12. [仕様](#)
13. [Philipsフラットパネル モニタのピクセル欠陥規定](#)
14. [規制](#)

- パッキングリスト
- 初期セットアップ

## 使用の手引き

---

### パッキングリスト



デジタルフォトディスプレイ



フォトディスプレイスタンド



クイックスタートガイド



ユーザーマニュアルCD



電源アダプタ



デジタルカメラ接続用USBケーブル  
(メスAタイププラグ)



PC接続用USBケーブル  
(メスAタイププラグ)

### その他必要なもの



コンセント



カメラ、メモリカードまたはPCのデジタル写真

[ページトップに戻る](#)

---

©2005 Koninklijke Philips Electronics NV

All rights reserved. Philips Electronics NVの書面による事前の許可なしには、本書の一部または前部を複製、コピー、使用、修正、賃貸、公演、レンタル、伝送、放送することはできません。

- バックリングリスト
- 初期セットアップ

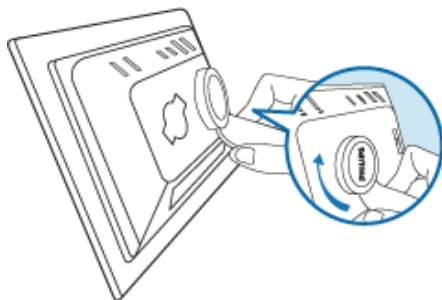
## 使用の手引き

### 初期セットアップ

Philipsデジタルフォトディスプレイは、ディスプレイの写真に合うように縦または横向きに置くことができます。内蔵の充電式バッテリーにより、電源コードを使わずにこのディスプレイを順に回したり写真を表示することができます。または、部屋の適当な場所に置いてコンセントに接続し、コンスタントな写真ディスプレイすることもできます。

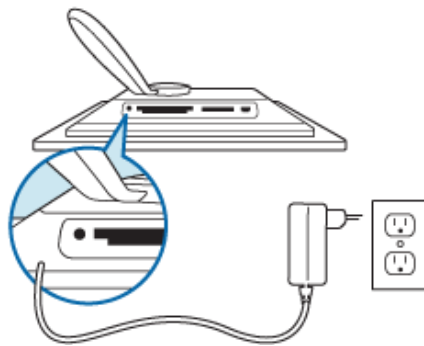
#### A. フォトディスプレイスタンドを取り付ける

- スタンドの先端をソケットに取り付けます
- スタンドが所定の位置にロックされるまで右方向に回転します



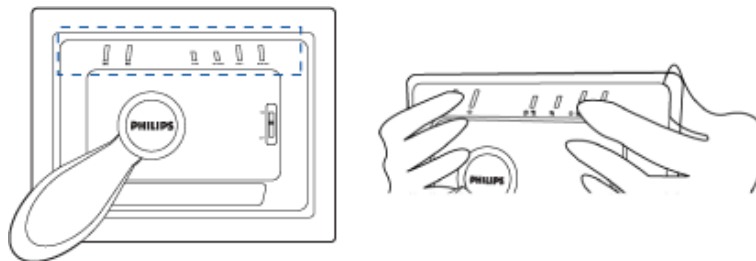
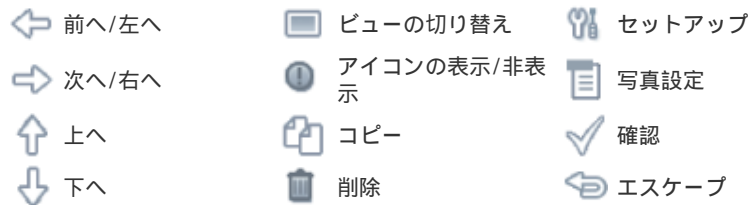
#### B. 電源に接続する

- フォトディスプレイからコンセントに付属の電源ケーブルを接続します。内部バッテリーが充電を開始すると、バッテリーLEDがオレンジ色に変わります。



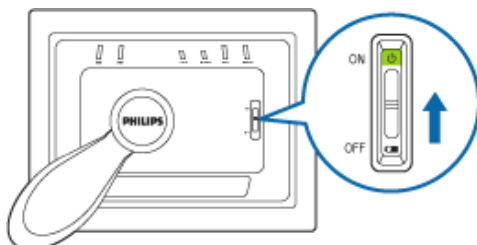
#### コントロールキーの確認

フォトディスプレイを使用するには、背面のコントロールキーを押します。LCDディスプレイは、同じ位置で各キーに対する機能アイコンも表示します。

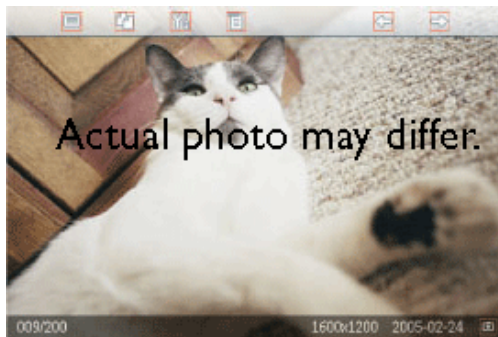


C. フォトディスプレイをオンにする









- 電源スイッチを上スライドさせてON(オン)の位置にします。電源LEDが緑色になり、起動画面が表示されます。








次の画面が現れ、プレロードされた写真を表示します。



D. お好みの言語を選択する

-  キー(フォトディスプレイ背面の左から3番目のキー)を押します  
フォトディスプレイ の一般設定メニューが表示されます。
-  または  キーを使用して *Language (言語)* を強調表示し、 キーを押して選択します。
-  または  キーを使用してお好みの言語を選択します。  を押して選択を確認します。 ビュー設定が直ちに有効になります。
-  をもう一度押して *Language (言語)* メニューを終了します。

	Slideshow	English
	Language	Français
	Brightness	Deutsch
	Time functions	Italiano
	Status	русский
		Spanish

[ページトップに戻る](#)

- 写真を表示する
- 写真をコピーする
- 写真のスライドショーを表示する
- 写真を削除する

## 写真を楽しむ

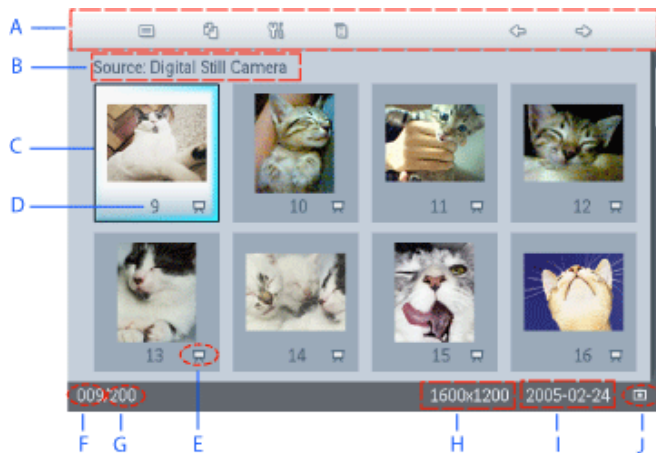
### 写真を表示する






フォトディスプレイにメモリーカードまたはデジタルカメラが接続されていないとき、内部に格納された写真を表示します。メモリーカードが挿入されているか、デジタルカメラがフォトディスプレイに実際に接続されているとき、もっとも最近接続されたメディアまたはデバイスから、日付の新しい順に写真を表示します。

フォトディスプレイの3つの表示モードから選択することができます。☐ (フォトディスプレイ背面の左から1番目) を押して、3つの表示モードを切り替えます。前の写真を表示するには ← を使用し、次の写真を表示するには → を使用します。( ← と → はフォトディスプレイ背面の右から最初の2つのキーです)。



写真のサムネールリスト。



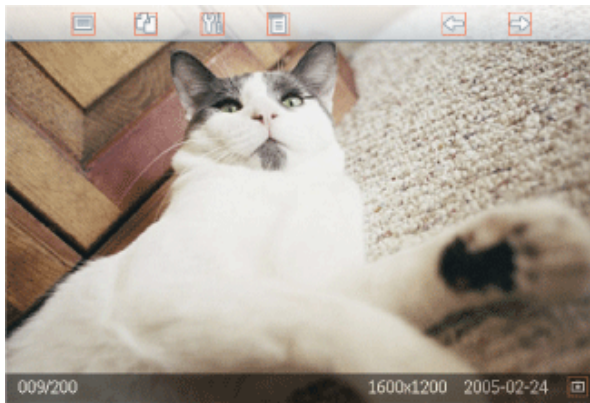
- A 各アイコンは、フォトディスプレイ背面の対応するキーを示しています。
- B 画面の写真のソース
  -  カメラ
  -  コンパクトフラッシュ
  -  メモリスティック
  -  SD、MMC
  -  フォトディスプレイ
- C 現在の写真
- D 現在の写真番号
- E スライドショーアイコン  
(表示されている場合、この写真はスライドショーを示します)。
- F 現在の写真番号、Dと同じ
- G 写真総数
- H 現在の写真の解像度(ピクセル)
- I 現在の写真の撮影日
- J 表示された写真のソース。

スライドショー- 写真の自動、回転ディスプレイ。

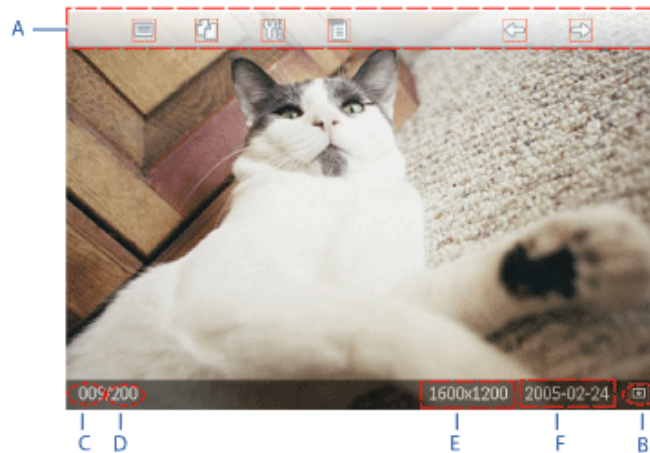


閲覧-写真を1枚ずつ手動で表示。(ディスプレイサイズと日付)





各アイコンは、フォトディスプレイ背面の対応するキーを示しています。



A 各アイコンは、フォトディスプレイ背面の対応するキーを示しています。

B 画面の写真のソース

- |   |   |                                   |
|---|---|-----------------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> カメラ | <input type="checkbox"/> コンパクトフラッシュ           | <input type="checkbox"/> メモリスティック |
| <input type="checkbox"/> SD、MMC         | <input checked="" type="checkbox"/> フォトディスプレイ |                                   |

C 現在の写真番号

D 写真総数

E 現在の写真の解像度(ピクセル)

## F 現在の写真の撮影日

[ページトップに戻る](#)

## フォトディスプレイに写真を表示する

- フォトディスプレイからメモリカードまたはデジタルカメラ接続をすべて切断します。フォトディスプレイに格納された写真が表示されます。

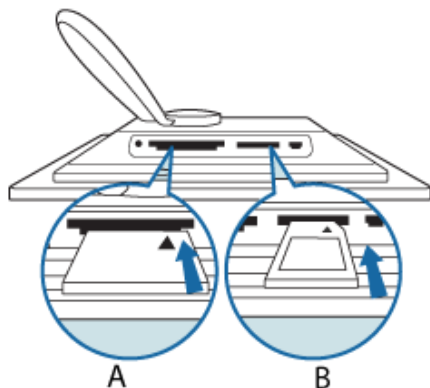
## メモリカードから写真を表示する

- メモリカードをフレームのスロットに挿入します。
- コンパクトフラッシュカードの場合、大きなスロット端を先に、表を下にしてカードをしっかりスライドさせながら挿入します。
- SD、MMC、またはメモリスティックカードの場合、小さなスロット端を先に、表を上にして所定の位置にロックされるまでカードをスライドさせます。数秒後、メモリカードの写真が表示されます。

メモリカードの取り外し法:

コンパクトフラッシュカードを取外すには、カードをゆっくり引き出します。

SD、MMC、またはメモリスティックカードを取外すには、カードを再び押してロック解除し、カードを引き出します。



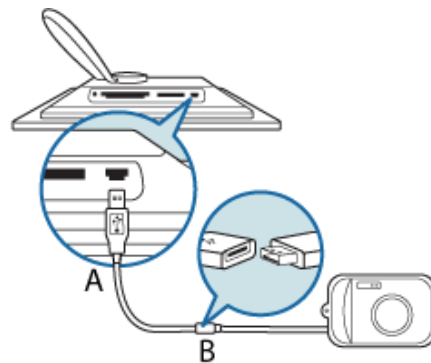
A CFカード

B SD/ MMC/MSカード

## デジタルカメラから写真を表示する

- 付属のデジタルカメラ接続用USBケーブルをフォトディスプレイに接続します。
- デジタルカメラを、カメラに付属するUSBケーブルに接続します。
- 2本のUSBケーブルを接続し、再生モードでカメラのスイッチをオンにします。  
(注: 一部、直接再生をサポートしていないモデルもあります)

数秒後、デジタルカメラの写真が表示されます。



- A 付録のデジタルカメラ接続用USBケーブル  
(メスAタイププラグ)
- B カメラ本体のUSBケーブル

[ページトップに戻る](#)

---

- 写真を表示する
- 写真をコピーする
- 写真のスライドショーを表示する
- 写真を削除する

## 写真を楽しむ

### 写真をコピーする


メモ리카ード、デジタルカメラまたはPCに格納された写真をフォトディスプレイにコピーできます。フォトディスプレイは、オリジナルの写真のサイズを変更されたコピーを内部に格納します。このサイズ変更されたコピーは、フォトディスプレイから削除されるまでフォトディスプレイ内に保管されています。

フォトディスプレイの内部メモリは、50枚以上の写真を格納します。フォトディスプレイに格納された写真を削除する方法については、「写真を削除する」をご覧ください。




#### デジタルカメラまたはメモ리카ードからコピーする

Browse（閲覧）モードで1枚ずつ、またはThumbnail（サムネイル）モードで一度に数枚の写真をコピーできます。

##### Browse（閲覧）モードで1枚ずつ写真をコピーする

- フォトディスプレイの電源をオンにし、ビューモードをBrowse（閲覧）に変更します。
- フォトディスプレイにデジタルカメラを接続するか、メモ리카ードを挿入します。デジタルカメラまたはメモ리카ードの写真が表示されます。
- 画面に表示された写真をコピーするには、キー（フォトディスプレイ背面の左から4番目のキー）を押します。選択された写真の4つの異なる方向が表示されます。




- またはキーを使用してお望みの方向を選択し、キーを押します。



接続時のコピー画面が消えるまで、メモ리카ードやカメラを取外さないでください。空きメモリ容量がありませんという警告メッセージが表示されたら、すでに格納された写真の一部を削除してから写真をコピーする必要があります。

- コピーが完了してコピー画面が消えたら、サイズ変更された写真のコピーがフォトディスプレイ内部に格納されます。
- 他の写真をポイントし、指定したすべての写真がフォトディスプレイにコピーされるまでこの手順を実行してください。

##### Thumbnail（サムネイル）モードで、一度に数枚の写真をコピーする

- フォトディスプレイの電源をオンにし、ビューモードをThumbnail（サムネイル）に変更します。
- フォトディスプレイにデジタルカメラを接続するか、メモ리카ードを挿入します。デジタルカメラまたはメモ리카ードの写真が表示されます。
- Thumbnail（サムネイル）モードでコピーする写真を強調表示するには、キー（フォトディスプレイ背面の左から4番目のキー）を押します。現在のサムネイル画面から小さな写真のサムネイルコピー画面が表示されます。



- ← または → キーを使用して移動し、 を使用してコピーリストに写真を追加し、 でコピーリストから写真を削除し、 を押してコピーリストを確認します。  
 コピーリストの写真は小さなコピーアイコンで表示されます .

接続時のコピー画面が消えるまで、メモリーカードやカメラを取外さないでください。  
 空きメモリ容量がありませんという警告メッセージが表示されたら、すでに格納された写真の一部を削除してから写真をコピーする必要があります。

- 他のサムネイルページをポイントし、指定したすべての写真がフォトディスプレイにコピーされるまでこの手順を実行してください。

メモリーカードを 経由してPCからフォトディスプレイにコピーする (推奨)

- メモリーカードに ¥UPLOAD¥フォルダを作成します
- メモリーカードの¥UPLOAD¥フォルダの下にフォトディスプレイに転送する写真をコピーします
- 注: サポートされているのは、JPEG形式の写真だけです
- 電源オフの状態で、フォトディスプレイにメモリーカードを差し込みます
- フォトディスプレイの電源をオンにします

数秒後、メモリーカードの¥UPLOAD¥ディレクトリのすべての写真がフォトディスプレイに自動的に追加されます。 ¥UPLOAD¥ディレクトリのすべての写真はコピー後もそのままの状態が残ります。

PCとフォトディスプレイ間で直接コピーする

Windowsシステムに対する要件:

- Windows 2000/XP以降

Macシステムに対する要件:

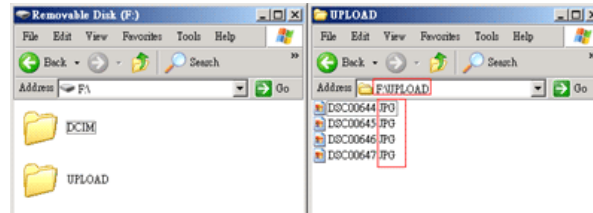
- Mac OS 9以降

- フォトディスプレイの電源をオンにし、付属のPC USBケーブルをフォトディスプレイに接続します。
- PC USBのケーブルプラグをPCに接続します。
- PCは、マストレージデバイスとしてフォトディスプレイを認識します。(カメラのように)



PCからフォトディスプレイにコピーする

- フォトディスプレイドライブの%UPLOAD%ディレクトリに写真を置きます。  
注：Photo Displayで表示できるのは、JPEGフォーマットの写真のみです。  
このディレクトリに受け入れられる写真数は、フォトディスプレイの限られた内部メモリによって制限されることがあります。従って、メモリカードに写真を置き、そのメモリカードからフォトディスプレイに写真をコピーすることを強くお勧めします。



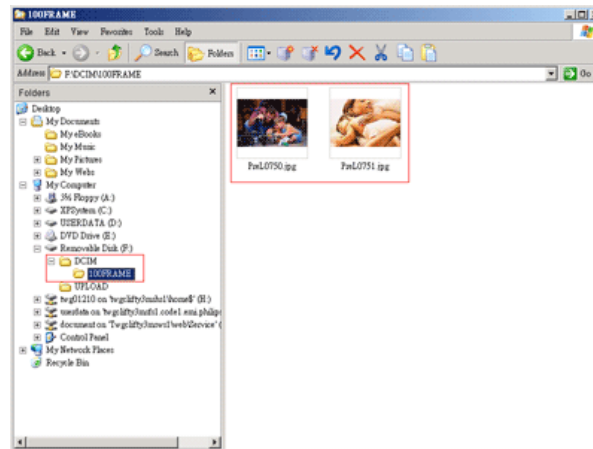
- USBケーブルを取外し、フォトディスプレイを再起動します。

Windows 2000システムの場合、切断する前に、ハードウェアを安全に取外すのを忘れないでください

数秒後、%UPLOAD%ディレクトリのすべての写真がフォトディスプレイに自動的に追加され、%UPLOAD%ディレクトリは空になります。

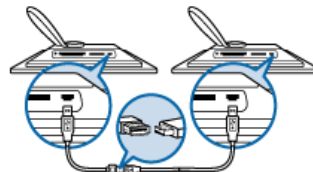
フォトディスプレイからPCにコピーする

- デジタルカメラの内容をPCに転送するのと同じ方法で、フォトディスプレイの写真をPCにコピーします。すべての写真は、フォトディスプレイドライブの%DCIM%ディレクトリのサブディレクトリに格納されます。



1つのフォトディスプレイから別のフォトディスプレイにコピーする

- 両方のフォトディスプレイの電源をオンにします。
- 付属のPC接続用USBケーブルでソースフォトディスプレイ(コピーする写真のある方)を接続します。
- コピー先フォトディスプレイ(写真を転送する方)を付属のデジタルカメラ接続用USBケーブルで接続します。
- 2本のUSBケーブルを共に接続します。  
コピー先フォトディスプレイが、写真ソースとしてデジタルカメラを認識します。  
ソースフォトディスプレイが、PCに接続されたかのようにその接続ステータスを示します。



- ソースフォトディスプレイから写真を選択して、メモリカードから写真をコピーするように、コピーします。

フォトディスプレイからデジタルカメラまたはメモリカードにコピーする

この操作はサポートされていません。フォトディスプレイは外部メモリカードまたはデジタルカメラに書き込むことができません。

[ページ トップに戻る](#)

---

- 写真を表示する
- 写真をコピーする
- 写真のスライドショーを表示する
- 写真を削除する


## 写真を楽しむ

### 写真のスライドショーを表示する

フォトディスプレイのビューモードをスライドショーに設定すると、画面に表示された写真を自動的に回転します。スライドショー用の写真をハンドピックしてスライドショーの頻度(例えば、写真が画面に表示される長さ)、遷移効果(次の写真を画面の現在の写真に置き換える方法)、連続またはランダム写真ディスプレイを選択できます。また、フォトディスプレイの設置方法に合うように、垂直または水平方向ですべてのスライドショー写真を表示するように選択することもできます。




### スライドショー用の写真を選択する






注: この機能は、フォトディスプレイに格納された写真にのみ適用されます。

- フォトディスプレイの電源をオンにし、ビューモードを *Browse* (閲覧) または *Thumbnail* (サムネイル) に変更します。
-  キー(フォトディスプレイ背面の左から4番目)を押します。

選択した写真用の特定設定を持つメニューが表示されます。



	 Show in slideshow	Yes
	 Rotate	No
	 Delete	
	 Exit	

-  キーを押してスライドショーで表示設定を選択し、 または  キーを使用してスライドショーモードでこの写真を表示するかどうかを決定します。

	 Show in slideshow	Yes
	 Rotate	No
	 Delete	
	 Exit	


スライドショーで表示の場合、所期設定ははいです。














-  を押して確認します。  
これで、設定が確認されました。
-  を押してこのメニューを終了します。


スライドショーの頻度を選択する




注: この機能はすべての写真に適用されます。

- フォトディスプレイの電源をオンにします
-  キー(フォトディスプレイ背面の左から3番目)を押します。  
フォトディスプレイ用の一般設定を持つメニューが表示されます。


	Slideshow 	Orientation 
	Language	Frequency
	Brightness	Effect
	Time functions	Order
	Status	

-  キーを押してスライドショー設定を選択し、 または  キーを使用して頻度アイテムに移動します。次に、 キーをもう一度押して頻度設定を選択します。

	Orientation	2 seconds
	Frequency 	10 seconds
	Effect	30 seconds
	Order	1 minute
		5 minutes
		30 minutes


-  または  キーを使用して画面に写真を表示する間隔を強調表示し、 を押して確認します。









	Orientation	2 seconds
	Frequency	10 seconds
	Effect	30 seconds
	Order	1 minute
		5 minutes
		30 minutes





- これで、設定が確認されました。
-  を押してこのメニューを終了します。


#### 遷移効果を選択する





注：この機能はすべての写真に適用されます。

- フォトディスプレイの電源をオンにします。
-  キー(フォトディスプレイ背面の左から3番目)を押します。  
フォトディスプレイ用の一般設定を持つメニューが表示されます。

	Slideshow 	Orientation 
	Language	Frequency 
	Brightness	Effect
	Time functions	Order
	Status	


-  キーを押してスライドショー設定を選択し、 または  キーを使用して効果アイテムに移動します。  
 キーをもう一度押して効果設定を選択します。








	Orientation	None
	Frequency	Random
	Effect 	Fade
	Order	Slide
		Scroll
		Snake






-  または  キーを使用して、1枚の写真を画面の次の写真に置き換える方法を強調表示します。  
 を押して選択を確認します。  
 これで、設定が確認されました。  
 を押してこのメニューを終了します。


#### 写真の順序を選択する





注：この機能はすべての写真に適用されます。

- フォトディスプレイの電源をオンにします。
-  キー(フォトディスプレイ背面の左から3番目)を押します。
- フォトディスプレイ用の一般設定を持つメニューが表示されます。


	Slideshow 	Orientation 
	Language	Frequency
	Brightness	Effect
	Time functions	Order
	Status	

-  キーを押して  スライドショー設定を選択し、 または  キーを使用して順序アイテムに移動します。次に、 キーをもう一度押して順序を選択します。








	Orientation	Sequential
	Frequency	Random
	Effect	
	Order 	



-  または  キーを使用して優先順位を強調表示し、 を押して確認します。  
 これで、設定が確認されました。
-  を押してこのメニューを終了します。


#### フォトディスプレイの配置方向を指示する




- フォトディスプレイの電源をオンにします。
-  キー(フォトディスプレイ背面の左から3番目)を押します。

フォトディスプレイ用の一般設定を持つメニューが表示されます。

	Slideshow 	Orientation 
	Language	Frequency
	Brightness	Effect
	Time functions	Order
	Status	


-  キーを押してスライドショー設定を選択し、 キーをもう一度押して方向性を選択します。

	Orientation 	Horizontal
	Frequency	Vertical
	Effect	
	Order	


-  または  キーを使用して、フォトディスプレイの配置方法を強調表示します。 フォトディスプレイを垂直に配する場合は、**縦方向**を選択し、フォトディスプレイを水平に配置する場合は**横方向**を選択します。  を押して選択を確認します。

	<b>Orientation</b>	<b>Horizontal</b>
	<b>Frequency</b>	<b>Vertical</b>
	<b>Effect</b>	
	<b>Order</b>	






これで、設定が確認されました。

-  を押してこのメニューを終了します。






スライドショーの正しい写真方向を選択する




- フォトディスプレイの電源をオンにし、ビューモードを**閲覧**または**サムネイル**に変更します。
-  キー(フォトディスプレイ背面の左から4番目)を押します。

選択した写真用の特定設定を持つメニューが表示されます。


	 <b>Show in slideshow</b>	<b>Yes</b>
	 <b>Rotate</b>	<b>No</b>
	 <b>Delete</b>	
	 <b>Exit</b>	

-  または  キーを使用して**回転**を強調表示します。 次に、  を押して選択します。

	 <b>Show in slideshow</b>	<b>No Change</b>
	 <b>Rotate</b>	<b>90 Clockwise</b>
	 <b>Delete</b>	<b>180 Clockwise</b>
	 <b>Exit</b>	<b>270 Clockwise</b>

-  または  キーを使用し、左のサムネイル画像が選択した写真の指定した方向を示すまで、さまざまな回転角度を強調表示します。
-  を押して確認します。

これで、選択した設定が確認されました。

- を押してこのメニューを終了します。

[ページ トップに戻る](#)

---

- 写真を表示する
- 写真をコピーする
- 写真のスライドショーを表示する
- 写真を削除する

## 写真を楽しむ

### 写真を削除する


フォトディスプレイに格納された写真を削除したり、写真の方向性を接続する必要が出る場合もあります。その方法を、以下に示します。

#### 写真を削除する




注：この機能は、フォトディスプレイに格納された写真にのみ適用されます。






「閲覧」モードで1枚ずつ、または「サムネイル」モードで一度に数枚の写真を削除できます。




「閲覧」モードで1枚ずつ写真を削除する


- フォトディスプレイの電源をオンにし、ビューモードをBrowse ( 閲覧 ) モードに変更します。
-  キー(フォトディスプレイ背面の左から4番目)を押します。  
選択した写真用の特定設定を持つメニューが表示されます。

	 Show in slideshow	Yes
	 Rotate	No
	 Delete	
	 Exit	







-  または  キーを使用してDelete ( 削除 ) を強調表示し、 キーを押して選択します。

	 Show in slideshow	Yes
	 Rotate	No
	 Delete	
	 Exit	

-  または  キーを使用して *Delete Photo* ( 写真の削除 ) を強調表示し、 を押して確認します。
  - 写真を削除するとき、フォトディスプレイはステータスを表示し、完了すると「閲覧」モードに戻ります。
- 「サムネイル」モードで、一度に数枚の写真を削除する

- フォトディスプレイの電源をオンにし、ビューモードを *Thumbnail* ( サムネイル ) に変更します。
- *Thumbnail* ( サムネイル ) モードで削除する写真を強調表示するには、 キー ( フォトディスプレイ背面の左から2番目のキー ) を押します。  
現在のサムネイル画面から小さな写真のマルチフォト削除画面が表示されます。



-  または  キーを使用して移動し、 を使用して削除リストに写真を追加し、 で削除リストから写真を削除し、 キーを押して削除リストを確認します。  
削除リストの写真は小さな削除アイコンで表示されます。
- 完了時に削除画面が消えると、削除リストのすべての写真がフォトディスプレイから削除されます。
- 他のサムネイルページをポイントし、この手順を実行し指定したすべての写真をフォトディスプレイから削除します。

ページ トップに戻る






- 明るさ、言語、設定時間機能を選択する
- フォトディスプレイステータスをチェックする
- フォトディスプレイをお手入れする

## フォトディスプレイを最適化する






### 明るさ、言語、設定時間機能を選択する




この選択を使用して、フォトディスプレイの明るさレベルとオンスクリーン情報ディスプレイ言語を選択します。 現地時間を入力し、6:00PM-6:00AMの間で夕方時間の異なる明るさレベルを設定することもできます。 また、フォトディスプレイの毎日の自動電源オフと電源オンを設定できます。

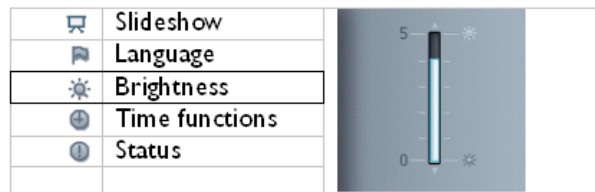
#### 全般的明るさレベルを設定する




- フォトディスプレイの電源をオンにします。
-  キー(フォトディスプレイ背面の左から3番目)を押します。

フォトディスプレイ用の一般設定を持つメニューが表示されます。


	Slideshow	Orientation
	Language	Frequency
	Brightness	Effect
	Time functions	Order
	Status	

-  または  キーを使用して *Brightness* (明るさ) を強調表示します。次に、 キーを押して選択します。  
スケールの付いた明るさバーと現在の値が表示されます。




-  または  キーを使用して明るさのレベルを修正し、 を押して確認したらメニューを終了します。  
これで、選択した設定が確認されました。








-  を押してこのメニューを終了します。






#### 現地時間を設定する


- フォトディスプレイの電源をオンにします。


-  キー(フォトディスプレイ背面の左から3番目)を押します。  
フォトディスプレイ用の一般設定を持つメニューが表示されます。







	Slideshow	Orientation
	Language	Frequency
	Brightness	Effect
	Time functions	Order
	Status	

-  または  キーを使用して時間機能を強調表示します。次に、 キーを押して選択します。



	Slideshow	Current time
	Language	6PM-6AM Brightness
	Brightness	Auto on/off timer
	Time functions	Auto on at
	Status	Auto off at

-  キーをもう一度押して現在の時間を選択します。  
時、分、AM/PMを設定する時計が表示されます。

	Current time	 11:00 AM
	6PM-6AM Brightness	
	Auto on/off timer	
	Auto on at	
	Auto off at	

-  または  キーを使用して時を設定し、次に  キーを押して分に移動し、 または  キーを使用して分を設定します。 を使用して変更を行います。


	Current time	11:00 AM
	6PM-6AM Brightness	
	Auto on/off timer	
	Auto on at	
	Auto off at	






-  を押して確認します。  
これで、設定が確認されました。
-  を押してこのメニューを終了します。




#### 夕方の明るさレベルを設定する






この機能をセットアップする前に、現地時間を正確に設定する必要があります




- フォトディスプレイの電源をオンにします

-  キー(フォトディスプレイ背面の左から3番目)を押します。  
 フォトディスプレイ用の一般設定を持つメニューが表示されます。





	Slideshow	Orientation
	Language	Frequency
	Brightness	Effect
	Time functions	Order
	Status	

-  または  キーを使用して時間機能を強調表示します。次に、 キーを押して選択します。

	Slideshow	Current time
	Language	6PM-6AM Brightness
	Brightness	Auto on/off timer
	Time functions	Auto on at
	Status	Auto off at


-  または  キーを使用して6PM-6AMの明るさを強調表示し、 キーを押して選択します。






	Current time	Current Brightness
	6PM-6AM Brightness	Level 5 (bright)
	Auto on/off timer	Level 4
	Auto on at	Level 3
	Auto off at	Level 2
		Level 1 (dark)

-  または  キーを使用して明るさのレベルを修正し、 を押して確認したらメニューを終了します。  
 現在の明るさを選択すると、夕方の間は同じ明るさを維持します。
-  をもう一度押してこのメニューを終了します。






6PM-6AM間に明るさ設定を修正すると、夕方の新しい設定に一時的に従い次の夕方からは元の6PM-6AMの明るさ設定に戻ります。

毎日の電源オフと電源オン時間を設定する

- この機能をセットアップする前に、現地時間を正確に設定する必要があります。
- フォトディスプレイの電源をオンにします。
-  キー(フォトディスプレイ背面の左から3番目)を押します。  
 フォトディスプレイ用の一般設定を持つメニューが表示されます。

	Slideshow	Orientation
	Language	Frequency
	Brightness	Effect
	Time functions	Order
	Status	

- ↑ または ↓ キーを使用して時間機能を強調表示します。次に、⇒ キーを押して選択します。

	Slideshow	Current time
	Language	6PM-6AM Brightness
	Brightness	Auto on/off timer
	Time functions	Auto on at
	Status	Auto off at

- ↑ または ↓ キーを使用して時間オン/オフタイマーを強調表示します。次に、⇒ キーを押して選択します。

	Current time	Enable
	6PM-6AM Brightness	Disabled
	Auto on/off timer	
	Auto on at	
	Auto off at	






- [有効]を選択し、✓ を押して確認します。
- 最後に、[自動]に移動し⇒ キーを押して選択します。
- 時間をフォトディスプレイを毎日オンにするに設定し、✓ を押して確認します。
- 最後に、自動オフに移動し⇒ キーを押して選択します。

- 時間をフォトディスプレイを毎日オフにするに設定し、✓ を押して確認します。  
これで、フォトディスプレイの自動オン/オフセットアップが完了しました。毎日、同じ時間に自動的に電源がオン/オフします。
- ⇒ を押してこのメニューを終了します。






デジタルフォトディスプレイは自動オフ時間に正確にそのディスプレイを自動的にオフにし、その日のその時間をすでに過ぎている場合は、翌日のその時間に自動オフステータスに入ります。

#### オンスクリーン言語の選択

- フォトディスプレイの電源をオンにします
- ☞ キー(フォトディスプレイ背面の左から3番目)を押します。  
フォトディスプレイ用の一般設定を持つメニューが表示されます。

	Slideshow	Orientation
	Language	Frequency
	Brightness	Effect
	Time functions	Order
	Status	

- ↑ または ↓ キーを使用して言語を強調表示し、→ キーを押して選択します。

	Slideshow	English
	Language	Français
	Brightness	Deutsch
	Time functions	Italiano
	Status	русский
		Spanish

- ↑ または ↓ キーを使用して優先言語を選択し、✓ を押して確認します。  
新たに選択した設定が直ちに有効になります。
- ← をもう一度押してこのメニューを終了します。

[ページ トップに戻る](#)

- 明るさ、言語、設定時間機能を選択する
- フォトディスプレイステータスを確認する
- フォトディスプレイをお手入れする

## フォトディスプレイを最適化する


### フォトディスプレイステータスを確認する

システムの電源のオン/オフ状態、バッテリーの充電状態、格納可能な写真枚数、バッテリー残量、現在接続されているメディア、フォトディスプレイソフトウェアのバージョンなど、フォトディスプレイのステータスを確認できます。



背面のLEDライトインジケータから、システムがオンになっているか、またはバッテリーの充電中であるかどうかを判断できます。

電源LED	緑: システムオン オフ: システムオフ
バッテリーLED	オレンジ: バッテリーの充電中 オフ: バッテリーを充電していません

次は、他の情報を調べる簡単な方法です。

- フォトディスプレイの電源をオンにします。
-  キー(フォトディスプレイ背面の左から3番目)を押します。

フォトディスプレイ用の一般設定を持つメニューが表示されます。

-  または  キーを使用して *Status* (ステータス) を強調表示します。


現在のフォトディスプレイのステータスが右列に表示されます。

空き容量: XX枚(フォトディスプレイに格納できる追加のおおよその枚数)

バッテリーレベル: XX% (100%は完全に充電、0%はバッテリー残量ゼロ)

接続されているメディア: (フォトディスプレイに接続されているすべてのメモ리카ードとデジタルカメラを一覧表示します)

ファームウェア: (フォトディスプレイのソフトウェアバージョン)

-  をもう一度押してこのメニューを終了します。

[ページ トップに戻る](#)

---



- 明るさ、言語、設定時間機能を選択する
- フォトディスプレイステータスをチェックする
- フォトディスプレイをお手入れする

## フォトディスプレイを最適化する

---

### フォトディスプレイをお手入れする

#### 1) セーフ電源オフ

電源オフの間、フォトディスプレイのスイッチをオンにしないでください。

#### 2) 落とさない

フォトディスプレイは複雑な電子機器であるため、落下の衝撃に耐えることはできません。

#### 3) 湿気にさらさない

フォトディスプレイは防湿または耐湿機能を持っていません。湿気またはいかなる種類の液体にさらしても、フォトディスプレイが損傷する恐れがあります。

#### 4) 打ち付けたり傷を付けない

フォトディスプレイのLCDパネルはガラス製であるため、常識を超えた力や鋭い縁のあるハードウェアに簡単に傷がつきます。

#### 5) 画面のお手入れ

乾いた、柔らかい布のみを使用して画面をきれいにしてください。

#### 6) バッテリーの充電

初めて使用する場合、フォトディスプレイを完全に充電してください(バッテリーを完全に充電すると、バッテリーLEDがオフになります) このプロセスには、3時間以上かかることがあります。フォトディスプレイは、バッテリーレベルが一定値より下がったときのみ、その内部バッテリーの完全充電を開始します。これは、不要なバッテリー充電を少なくすることによって、フォトディスプレイのバッテリー寿命を延ばすためです。

#### 7) 画面のお手入れ

乾いた、柔らかい布のみを使用して画面を拭いてしてください。

#### 8) 温度と湿度の制限

動作温度: -5 ° ~ 55 ° (C)

湿度: 20% ~ 80%

[ページ トップに戻る](#)

---

- デジタルフォトディスプレイを使用する
- トラブルシューティング

## よくある質問

### デジタルフォトディスプレイを使用する

- Q: LCDのタッチ画面は有効になっていますか?  
A: LCDのタッチ画面は有効になっていません。 デジタルフォトディスプレイをコントロールするには、背面のキーを使用してください。
- Q: 異なるメモリカードを使用してさまざまなスライドショーの写真を切り換えることができますか?  
A: はい、できます。 デジタルフォトディスプレイにメモリカードまたはカメラを接続すると、そのカードまたはカメラに格納されたスライドショー写真を切り換えることができます。
- Q: 同じ写真を長時間表示し続けていると、LCD画面が損傷することはありませんか?  
A: いいえ、ありません。デジタルフォトディスプレイはLCD画面を損傷させることなく、1,000時間連続して同じ写真を表示することができます。
- Q: デジタルフォトディスプレイを使用して、メモリカードまたはカメラの写真を削除することはできますか?  
A: いいえ、できません。メモリカードやデジタルカメラなど、外部デバイスの写真を削除する操作はサポートしていません。
- Q: デジタルフォトディスプレイの写真を印刷することはできますか?  
A: いいえ、できません。写真の直接印刷はサポートしていません。
- Q: 写真をコピーした後、写真がすでに格納されているかどうかをどのようにすれば確認できますか?  
A: 画面に「写真がコピーされました」という確認メッセージが表示された後、写真はコピーされます。 その後、カメラ/カードを取外して内部の写真を表示できます。
- Q: デジタルフォトディスプレイはその3:2画面に高解像度4:3デジタル写真をどのように表示するのですか?  
A: 高品質写真の完全性を確保するために、デジタルフォトディスプレイは写真をオリジナルのアスペクト比に縮小し、これらの写真を表示する前にはみ出した部分をトリミングします。
- Q: 自動オフ期間の間、デジタルフォトディスプレイを使用することはできますか?  
A: はい、できます。 どれかのコントロールキーを押すと、システムはオン(ON)ステータスに戻ります。
- Q: 6PM-6AMの明るさを 7PM-11PMの明るさなどの他の時間フレームに変更できますか?  
A: いいえ、変更することはできません。

### トラブルシューティング

- Q: DPDに写真を新たに保存するために、メモリサイズを増やすことはできますか?  
A: いいえ、できません。DPDの内部メモリは固定されており、拡張することはできません。ただし、DPDに異なるメモリカードを使用すれば、写真を切り換えることができます。写真の回転とスライドショーの方向機能は、メモリカードやカメラに保存された写真に対してはサポートされませんが、それはDPDはそのような写真を読み込むことはできますが 変更はできないからです。
- Q: デジタルフォトディスプレイで表示できない写真があるのはどうしてですか?  
A: デジタルカメラはカメラの業界基準に従って、JPEG形式で 写真を撮影し保存します。デジタルフォトディスプレイは、同じ業界基準に従って写真を 表示するように設計されています。Web画像、 スキャンされた画像、またはプロ仕様のカメラのRAW形式の写真など、一部の画像は カメラの業界基準に従って保存されず、 それ故に、デジタルフォトディスプレイ上で正しく表示することはできません。 PCアプリケーションを使用して、そのような画像を デジタルフォトディスプレイ用にJPEG形式に変換してください。
- Q: 私のデジタルフォトディスプレイはオン(オン)になっていますが、システムが  
応答しません。  
A: まず、システムに電源が正しく供給されていることを確認してください。 次に、ピンを使用して背面の左下にあるリセット(Reset)ボタンを切り換え、システムを復元してください。
- Q: 付属のUSBケーブルが合わない場合、または  
私のデジタルカメラで作動しない場合何が  
できますか?  
A: まず、システムに電源が正しく供給されていることを確認してください。 次に、ピンを使用して背面の左下にあるリセット(Reset)ボタンを切り換え、システムを復元してください。

A: お使いのデジタルカメラに付属するUSBケーブルを使用して接続してください。

14) Q: 自動オフステータスにデジタルフォトディスプレイを設定したのに、そのステータスに入らないのはどうしてですか?

A: まず、現在の時間、自動オフ時間、自動オン時間を正しく設定していることを確認してください。デジタルフォトディスプレイは、自動オフ時間で正確にそのディスプレイを自動的にオフにします。その日の時間をすでに過ぎている場合、翌日の指定された時間に自動オフステータスに入ります。

15) Q: デジタルフォトディスプレイが夕方に6PM-6AMの明るさ設定に従わないのは、どうしてですか?

A: まず、現在の時間を正しく設定していることを確認してください。6PM-6AM間に明るさ設定を修正すると、夕方の新しい設定に一時的に従い次の夕方からは元の6PM-6AMの明るさ設定に戻ります。

16) Q: USB接続を使用して、PCからフォトディスプレイに直接写真をアップロードしようとしていますが、うまくいきません。どうしてですか?

A: 写真をフォトディスプレイのドライブの¥UPLOAD¥ディレクトリに置いてください。USBケーブルを抜き、フォトディスプレイを再起動します。数秒後、¥UPLOAD¥ディレクトリのすべての写真がフォトディスプレイに自動的に追加され、¥UPLOAD¥ディレクトリは空になります。

17) Q: PCからメモリカードに写真をアップロードし、そのカードをDPDに挿入しました。しかし、DPDに写真が表示されません。どうすればいいのですか?

A: メモリカードに¥UPLOAD¥ディレクトリを作成し、DPDにアップロードするすべての写真をメモリカードのその¥UPLOAD¥ディレクトリにロードします。それからメモリカードをDPDに挿入して、再起動します。数秒後、メモリカードの¥UPLOAD¥ディレクトリのすべての写真がフォトディスプレイに自動的に追加されます。メモリカードの¥UPLOAD¥ディレクトリは、この操作の後空にはなりません。

[ページトップに戻る](#)

---

- 国際保証

- ヨーロッパ向け

## アフターサービスと保証

---

### インターナショナル保証

お客様各位

この度はPhilips 製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。当社製品はすべて、高い品質基準の下に設計、製造されております。

万一当製品に不具合があった場合、修理を受ける国がどこであろうと、購入後12ヶ月間はPhilipsが修理代と部品代をすべて保証いたします。このインターナショナルPhilips保証は、購入国での販売店とPhilipsの皆様に対する従来の国内保証義務を補足するものであり、顧客としての法的権利に影響を及ぼすことはありません。

Philipsの保証は、製品が取扱説明書に従って本来の目的のために正当に扱われ、オリジナルのインボイスまたはレシートを添付し、購入日、販売店名、型および製品番号を提示した場合にのみ適用されます。

以下の場合にはPhilips は保証しないこともあります：

何らかの形で記録文書が改変されたり、判読できなくしてある。；  
製品上の型番号あるいは製品番号が変造、削除、除去、あるいは判読できなく改変されている。；  
認可されていないサービス組織または人物によって修理や製品の改変、改造が行われている。；  
損傷が落雷、水害、火事、誤用、無視その他の事故に起因する。

製品が最初に設計、製造された国以外の国においてその地方および国の技術水準を満たすために製品の改良が必要となった場合でも、製品はこの保証の下では決して不良品なのではないことに留意してください。すなわち、製品が特定の国内で使用可能かどうか常に点検してください。

購入されたPhilips 製品が正しく作動しない、または不良な場合は、購入されたPhilips販売店にお問い合わせ下さい。他の国にいる間にサービスを受けたい場合は、その国のPhilips Consumer Help Deskが本書の該当個所にも記載されている販売店の住所、電話番号、fax番号をお知らせします。

無駄な不都合を避けるため、販売店に問い合わせる前に取扱説明書をよくお読みください。販売店でも答えられなかった質問や関連質問には、[Philips 消費者情報センター](#) またはウェブサイトを参照して下さい。

ウェブサイト：<http://www.philips.com>

[ページトップに戻る](#)

---

## 仕様

---

### 写真/ディスプレイ

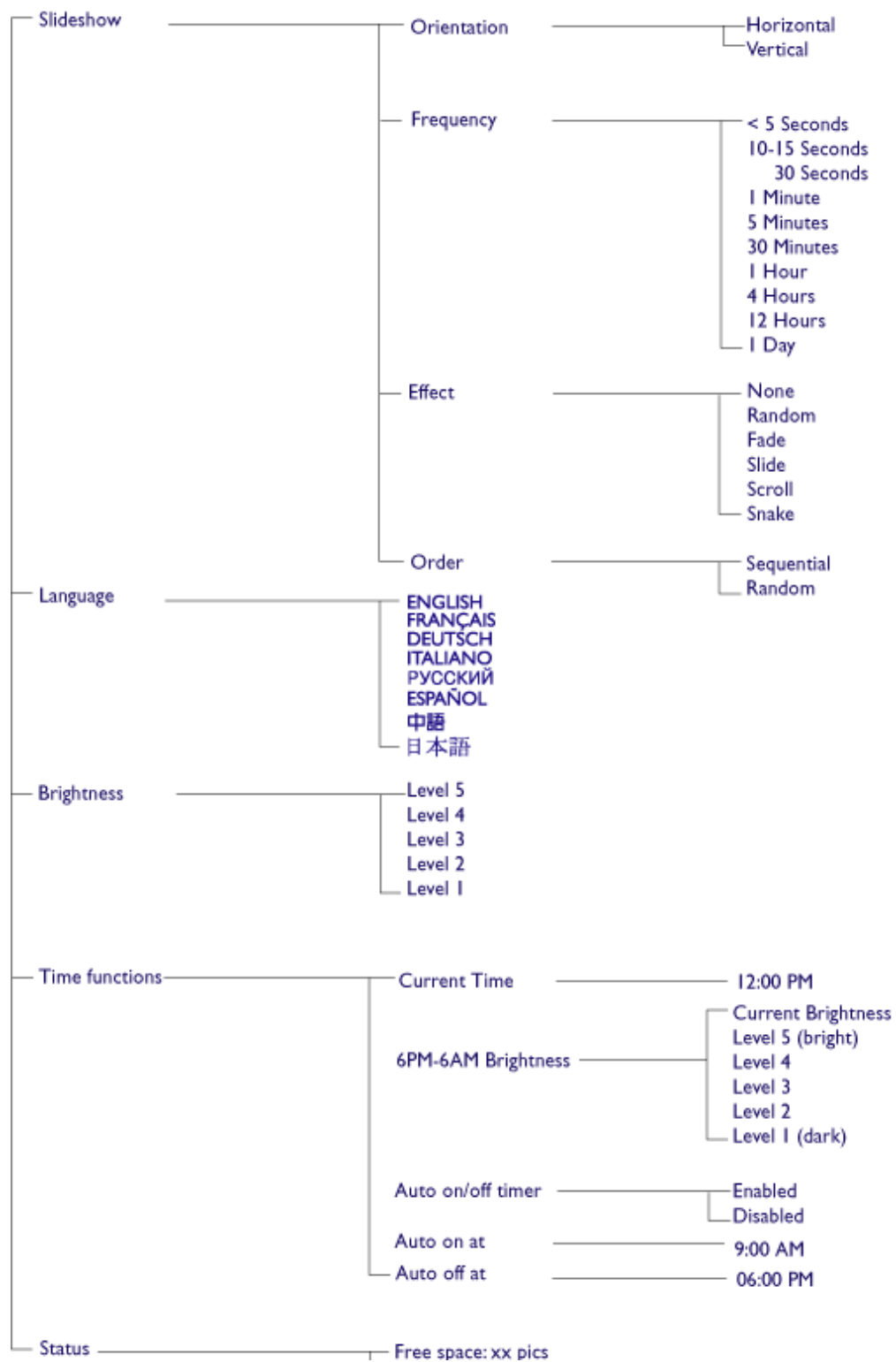
- 有効表示領域: 137 x 91 mm、6.5" 対角
- 垂直ドットピッチ: 0.1905 mm
- 水平ドットピッチ: 0.1905 mm
- 解像度: 720 x 480ピクセル
- 明るさ: 200 nits
- 表示角度(CR>5): 水平(-85°~85°)、垂直(-85°~85°)
- バックライトの半減時間: 20,000時間

### 接続性

- カードリーダー: 内蔵のセキュアデジタル(SD)、マルチメディアカード(MMC)、メモリカードスティック(MS、MS Pro)、コンパクトフラッシュ(CF)タイプIのみ。

### 利便性

- サポートされるフォトフォーマット: 最大12Mピクセル、EXIFとDCF標準に従ったJPEGフォト
- メモリサイズ: 50枚以上
- サポートされる配置: 横置き、縦置き
- コントロールボタン: 6つのボタン
- ディスプレイモード自動スライドショー、全画面閲覧、サムネイル閲覧
- セットアップメニュー:





Battery level:xx%  
 Connected media: SD/MMC, MS, CF Camera  
 Firmware: Bx.xx.xx, Mx.xx.xx

\* Specifications are subject to change without prior notice.

セキュアデジタル(SD)、マルチメディアカード(MMC)、メモリカードスティック(MS、MS Pro)、コンパクトフラッシュ(CF)タイプIのみ

最大12Mピクセルのサポートされる写真フォーマット、EXIFとDCF標準に従ったJPEGフォト

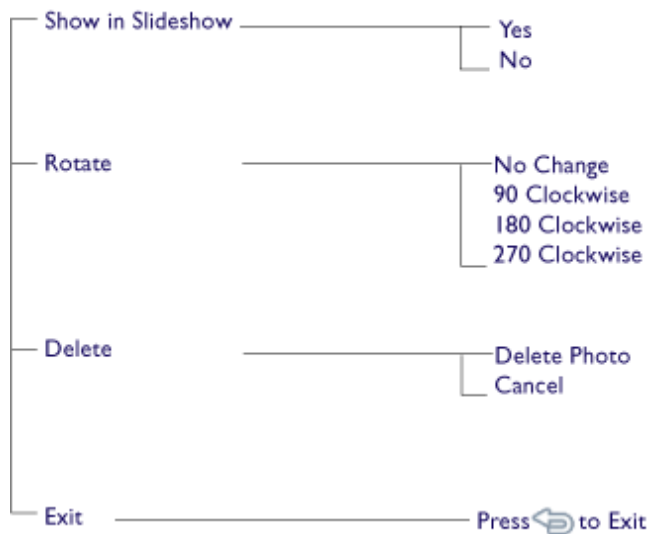
メモリサイズ: 50枚以上

サポートされる配置: 横置き、縦置き

コントロールボタン: 6つのボタン

ディスプレイモード自動スライドショー、全画面閲覧、サムネイル閲覧

フォトメニュー:



\* Specifications are subject to change without prior notice.

OSD言語: 英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、簡体字中国語、ロシア語、日本語

プラグアンドプレイ互換 Windows 2000/XP以降、Mac OS 9以降、Linux

アクセサリ

- 付属アクセサリ AC電源アダプタ、USBケーブル、クイックスタートガイド
- ユーザーマニュアル: 同梱(CD-ROMに)

電源

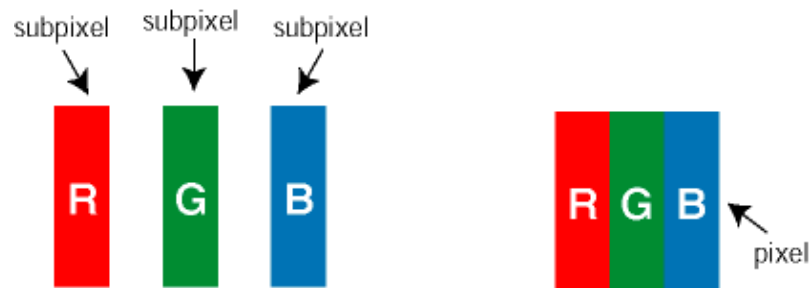
- 電源LEDインジケータ緑(電源オン)、オフ(電源オフ)
- バッテリーLEDインジケータオレンジ(充電中)、オフ(充電していません)
- サポートされる電源モード、バッテリー作動、AC作動

[ページトップに戻る](#)

---

## Philipsフラットパネル モニタのピクセル欠陥規定

Philipsは最高品質の製品をお届けするよう努力しております。当社は業界でも最先端の製造過程と厳しい品質管理を実施しております。しかし、フラットパネル モニタに使用されるTFT LCDパネル上のピクセルやサブピクセルの欠陥は、しばしば避けることができない問題です。全てのパネルにピクセル欠陥がないと保証できるメーカーはありませんが、Philipsは、受容できない数の欠陥があるモニタは保証の下にすべて修理し、交換することを保証いたします。この通知は、様々な種類のピクセル欠陥を説明し、各タイプごとに受容できる欠陥レベルを定義します。保証の下で修理または取り替えるには、TFT LCDパネル上のピクセル欠陥がこれらの受容レベルを超えていなければなりません。このポリシーは全世界共通です。



### ピクセルとサブピクセル

ピクセル、すなわち画素は、光の3原色赤、緑、青の3サブピクセルから構成されています。多くのピクセルが集まって一つのイメージを形成します。

全てのサブピクセルが光ると、3つの色つきサブピクセルが合わさって一つの白いピクセルとして現れます。真っ暗の時は、3色サブピクセルが集まり、黒のピクセルとして現れます。サブピクセルの明暗の他の組み合わせは、他の色の単ピクセルとなります。

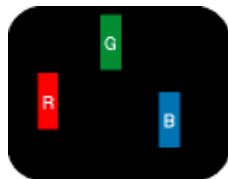
### ピクセル欠陥の種類

ピクセルおよびサブピクセル欠陥の画面への現れ方はさまざまです。ピクセル欠陥には2つの範疇があり、各範疇に数種のサブピクセル欠陥があります。

**Bright Dot Defects (明るいドットの欠陥)** 明るいドットの欠陥は、常に点灯または「オン」になっているピクセルまたはサブピクセルとして表示されます。

つまり、**明るいドット**はモニターが暗いパターンを表示するときに画面にひときわ目立つサブピクセルです。

明るいドットの欠陥には、いくつかのタイプがあります。



1つの赤、緑、青の光るサブピクセル

2つの隣接する光るサブピクセル:

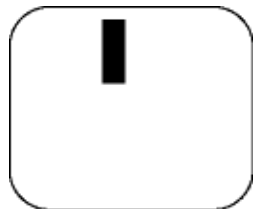
- 赤 + 青 = 紫
- 赤 + 緑 = 黄色
- 緑 + 青 = シアン (ライト・ブルー)

3つの隣接する光るサブピクセル (1つの白のピクセル)

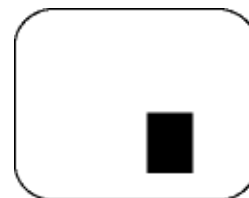


**赤いまたは青い明るいドットは近接するドットより50パーセント以上明るく、一方緑の明るいドットは近接するドットより30パーセント明るいドットです。**

Bright Dot Defects (黒いドットの欠陥) 黒いドットの欠陥は、常に暗いまたは「オフ」になっているピクセルまたはサブピクセルとして表示されます。つまり、暗いドットはモニターが明るいパターンを表示するときに画面にひときわ目立つサブピクセルです。黒いドットの欠陥には、いくつかのタイプがあります。



1つの暗いサブピクセル



2,3の近接する暗いサブピクセル

### ピクセル欠陥の隣接

同種のピクセルおよびサブピクセル欠陥が隣接している場合は一層目立つため、Philipsはピクセル欠陥の隣接性に対しても許容度を設定しています。

画素欠けなしなし	許容水準なしなし
モデルなしなし	7FF1シリーズ
1なしつの発光サブピクセルなしなし	2
2なしつの隣接する発光サブピクセルなし	1
3なしつの隣接する発光サブピクセルなし(1なしつの白いピクセルなし)なし	0
すべてのタイプに関する合計画素欠けなしなし	2

黒いドットの画素欠けなし	許容水準なしなし
モデルなしなし	7FF1シリーズ
1なしつの暗いサブピクセルなしなし	3
2なしつの隣接する暗いサブピクセルなしなし	1
3なしつの隣接する暗いサブピクセルなしなし	0
すべてのタイプに関する、黒い画素欠けの合計なし	3

画素欠けの点合計なしなし	許容水準なしなし
モデルなしなし	7FF1シリーズ
すべてのタイプに関する明るい或は黒い画素欠けの合計なしなし	4

[ページトップに戻る](#)



## Regulatory

[Recycling Information for Customers](#) • [Banned Substance Declaration](#) • [CE Declaration of Conformity](#) • [Federal Communications Commission \(FCC\) Notice \(U.S. Only\)](#) • [Commission Federale de la Communication \(FCC Declaration\)](#) • [EN 55022 Compliance \(Czech Republic Only\)](#) • [VCCI Class 2 Notice \(Japan Only\)](#) • [Polish Center for Testing and Certification Notice](#) • [North Europe Information \(Nordic Countries\)](#) • [BSMI Notice \(Taiwan Only\)](#) • [Philips End-of-Life Disposal](#) • [Waste Electronics and Electrical Equipment \(WEEE\)](#)

---

### Recycling Information for Customers

Philips establishes technically and economically viable objectives to optimize the environmental performance of the organization's product, service and activities.

From the planning, design and production stages, Philips emphasizes the important of making products that can easily be recycled. At Philips, end-of-life management primarily entails participation in national take-back initiatives and recycling programs whenever possible, preferably in cooperation with competitors.

There is currently a system of recycling up and running in the European countries, such as The Netherlands, Belgium, Norway, Sweden and Denmark.

In U.S.A., Philips Consumer Electronics North America has contributed funds for the Electronic Industries Alliance (EIA) Electronics Recycling Project and state recycling initiatives for end-of-life electronics products from household sources. In addition, the Northeast Recycling Council (NERC) - a multi-state non-profit organization focused on promoting recycling market development - plans to implement a recycling program.

In Asia Pacific, Taiwan, the products can be taken back by Environment Protection Administration (EPA) to follow the IT product recycling management process, detail can be found in web site [www.epa.gov.tw](http://www.epa.gov.tw)

For help and service, please read the section of [Service and Warranty](#) or the following team of Environmental specialist can help.

Mr. Job Chiu - Environment manager

Philips Electronics Industries (Taiwan) Ltd, Monitor Business Unit  
E-mail: [job.chiu@philips.com](mailto:job.chiu@philips.com)  
Tel: +886 (0) 3 454 9839

Mr. Maarten ten Houten - Senior Environmental Consultant  
Philips Consumer Electronics  
E-mail: [marten.ten.houten@philips.com](mailto:marten.ten.houten@philips.com)  
Tel: +31 (0) 40 27 33402

Ms. Delmer F. Teglas  
Philips Electronics North America  
E-mail: [butch.teglas@philips.com](mailto:butch.teglas@philips.com)  
Tel: +1 865 521 4322

[RETURN TO TOP OF THE PAGE](#)

---

### **Banned Substance Declaration**

This product comply with RoHs and Philips BSD (AR17-G04-5010-010) requirements

---

### **CE Declaration of Conformity**

- Philips Consumer Electronics declare under our responsibility that the product is in conformity with the following standards
  - EN60950:2000 (Safety requirement of Information Technology Equipment)
  - EN55022:1998 (Radio Disturbance requirement of Information Technology Equipment)
  - EN55024:1998 (Immunity requirement of Information Technology Equipment)
  - EN61000-3-2:2000 (Limits for Harmonic Current Emission)
  - EN61000-3-3:1995 (Limitation of Voltage Fluctuation and Flicker)following provisions of directives applicable
  - 73/23/EEC (Low Voltage Directive)
  - 89/336/EEC (EMC Directive)
  - 93/68/EEC (Amendment of EMC and Low Voltage Directive)and is produced by a manufacturing organization on ISO9000 level.

[RETURN TO TOP OF THE PAGE](#)

---

### **Federal Communications Commission (FCC) Notice (U.S. Only)**





This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.



Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Use only RF shielded cable that was supplied with the monitor when connecting this monitor to a computer device.

To prevent damage which may result in fire or shock hazard, do not expose this appliance to rain or excessive moisture.

THIS CLASS B DIGITAL APPARATUS MEETS ALL REQUIREMENTS OF THE CANADIAN INTERFERENCE-CAUSING EQUIPMENT REGULATIONS.

[RETURN TO TOP OF THE PAGE](#)

---

### Commission Federale de la Communication (FCC Declaration)



Cet équipement a été testé et déclaré conforme aux limites des appareils numériques de class B, aux termes de l'article 15 Des règles de la FCC. Ces limites sont conçues de façon à fournir une protection raisonnable contre les interférences nuisibles dans le cadre d'une installation résidentielle. CET appareil produit, utilise et peut émettre des hyperfréquences qui, si l'appareil n'est pas installé et utilisé selon les consignes données, peuvent causer des interférences nuisibles aux communications radio. Cependant, rien ne peut garantir l'absence d'interférences dans le cadre d'une installation particulière. Si cet appareil est la

cause d'interférences nuisibles pour la réception des signaux de radio ou de télévision, ce qui peut être décelé en fermant l'équipement, puis en le remettant en fonction, l'utilisateur pourrait essayer de corriger la situation en prenant les mesures suivantes:

- Réorienter ou déplacer l'antenne de réception.
- Augmenter la distance entre l'équipement et le récepteur.
- Brancher l'équipement sur un autre circuit que celui utilisé par le récepteur.
- Demander l'aide du marchand ou d'un technicien chevronné en radio/télévision.



Toutes modifications n'ayant pas reçu l'approbation des services compétents en matière de conformité est susceptible d'interdire à l'utilisateur l'usage du présent équipement.

N'utiliser que des câbles RF armés pour les connections avec des ordinateurs ou périphériques.

CET APPAREIL NUMERIQUE DE LA CLASSE B RESPECTE TOUTES LES EXIGENCES DU REGLEMENT SUR LE MATERIEL BROUILLEUR DU CANADA.

[RETURN TO TOP OF THE PAGE](#)

---

### EN 55022 Compliance (Czech Republic Only)

This device belongs to category B devices as described in EN 55022, unless it is specifically stated that it is a Class A device on the specification label. The following applies to devices in Class A of EN 55022 (radius of protection up to 30 meters). The user of the device is obliged to take all steps necessary to remove sources of interference to telecommunication or other devices.

Pokud není na typovém štítku počítače uvedeno, že spadá do do třídy A podle EN 55022, spadá automaticky do třídy B podle EN 55022. Pro zařízení zařazená do třídy A (chranné pásmo 30m) podle EN 55022 platí následující. Dojde-li k rušení telekomunikačních nebo jiných zařízení je uživatel povinen provést taková opatření, aby rušení odstranil.

[RETURN TO TOP OF THE PAGE](#)

---

### VCCI Notice (Japan Only)

This is a Class B product based on the standard of the Voluntary Control Council for Interference (VCCI) for Information technology equipment. If this equipment is used near a radio or television receiver in a

domestic environment, it may cause radio Interference. Install and use the equipment according to the instruction manual.



Class B ITE

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

[RETURN TO TOP OF THE PAGE](#)

---

### Polish Center for Testing and Certification Notice

The equipment should draw power from a socket with an attached protection circuit (a three-prong socket). All equipment that works together (computer, monitor, printer, and so on) should have the same power supply source.

The phasing conductor of the room's electrical installation should have a reserve short-circuit protection device in the form of a fuse with a nominal value no larger than 16 amperes (A).

To completely switch off the equipment, the power supply cable must be removed from the power supply socket, which should be located near the equipment and easily accessible.

A protection mark "B" confirms that the equipment is in compliance with the protection usage requirements of standards PN-93/T-42107 and PN-89/E-06251.

## **Wymagania Polskiego Centrum Badań i Certyfikacji**

Urządzenie powinno być zasilane z gniazda z przyłączonym obwodem ochronnym (gniazdo z kołkiem). Współpracujące ze sobą urządzenia (komputer, monitor, drukarka) powinny być zasilane z tego samego źródła.

Instalacja elektryczna pomieszczenia powinna zawierać w przewodzie fazowym rezerwową ochronę przed zwarciami, w postaci bezpiecznika o wartości znamionowej nie większej niż 16A (amperów).

W celu całkowitego wyłączenia urządzenia z sieci zasilania, należy wyjąć wtyczkę kabla zasilającego z gniazdka, które powinno znajdować się w pobliżu urządzenia i być łatwo dostępne.

Znak bezpieczeństwa "B" potwierdza zgodność urządzenia z wymaganiami bezpieczeństwa użytkownika zawartymi w PN-93/T-42107 i PN-89/E-06251.

## **Pozostałe instrukcje bezpieczeństwa**

- Nie należy używać wtyczek adapterowych lub usuwać kołka obwodu ochronnego z wtyczki. Jeżeli konieczne jest użycie przedłużacza to należy użyć przedłużacza 3-żyłowego z prawidłowo połączonym przewodem ochronnym.
- System komputerowy należy zabezpieczyć przed nagłymi, chwilowymi wzrostami lub spadkami napięcia, używając eliminatora przepięć, urządzenia dopasowującego lub bezzakłóceniewego źródła zasilania.
- Należy upewnić się, aby nic nie leżało na kablach systemu komputerowego, oraz aby kable nie były umieszczone w miejscu, gdzie można byłoby na nie nadeptywać lub potykać się o nie.
- Nie należy rozlewać napojów ani innych płynów na system komputerowy.
- Nie należy wpychać żadnych przedmiotów do otworów systemu komputerowego, gdyż może to spowodować pożar lub porażenie prądem, poprzez zwarcie elementów wewnętrznych.
- System komputerowy powinien znajdować się z dala od grzejników i źródeł ciepła. Ponadto, nie należy blokować otworów wentylacyjnych. Należy unikać kładzenia luźnych papierów pod komputer oraz umieszczania komputera w ciasnym miejscu bez możliwości cyrkulacji powietrza wokół niego.

[RETURN TO TOP OF THE PAGE](#)

---

## **North Europe Information (Nordic Countries)**

Placering/Ventilation

### **VARNING:**

FÖRSÄKRA DIG OM ATT HUVUDBRYTARE OCH UTTAG ÄR LÄTÅTKOMLIGA, NÄR DU STÄLLER DIN UTRUSTNING PÅPLATS.

Placering/Ventilation

**ADVARSEL:**

SØRG VED PLACERINGEN FOR, AT NETLEDNINGENS STIK OG STIKKONTAKT ER NEMT TILGÆNGELIGE.

Paikka/Ilmankierto

**VAROITUS:**

SIJOITA LAITE SITEN, ETTÄ VERKKOJOHTO VOIDAAN TARVITTAESSA HELPOSTI IRROTTAA PISTORASIESTA.

Plassering/Ventilasjon

**ADVARSEL:**

NÅR DETTE UTSTYRET PlassERES, MÅ DU PASSE PÅ AT KONTAKTENE FOR STØMTILFØRSEL ER LETTE Å NÅ.

[RETURN TO TOP OF THE PAGE](#)

---

**BSMI Notice (Taiwan Only)**

符合乙類資訊產品之標準

[RETURN TO TOP OF THE PAGE](#)

---

## End-of-Life Disposal

Your new product contains materials that can be recycled and reused. Specialized companies can recycle your product to increase the amount of reusable materials and to minimize the amount to be disposed of.

Please find out about the local regulations on how to dispose of your old monitor from your local Philips dealer.

### (For customers in Canada and U.S.A.)

Dispose of in accordance to local-state and federal regulations.

For additional information on recycling contact [www.eia.org](http://www.eia.org) (Consumer Education Initiative)

[RETURN TO TOP OF THE PAGE](#)

---

## Waste Electronics and Electrical Equipment (WEEE)



This product is labelled with this symbol in accordance with European Directive 2002/96/EG to indicate that it must not be disposed of with your other household waste. Please check your local city office or waste disposal service for the return and recycling of this product.

[RETURN TO TOP OF THE PAGE](#)

---

- 国際保証
- ヨーロッパ向け

## アフターサービスと保証

### Philips保証

Philipsモニターをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

すべてのPhilips製品は高水準に基づき設計及び製造されており、高性能と使いやすさをお届けしております。本製品をインストールする際、問題が生じた場合は、Philipsヘルプデスクにお問い合わせになる前に、当社のWebサイト:[www.philips.com/support](http://www.philips.com/support) をチェックしてください。

### 対象範囲

この保証は、アンドラ、オーストリア、ベルギー、キプロス、チェコ共和国、デンマーク、フランス、ドイツ、ギリシャ、ハンガリー、フィンランド、アイルランド、イタリア、ヒテンシュタイン、ルクセンブルグ、モナコ、オランダ、ノルウェー、ポーランド、ロシア、スロバキア、スロベニア、ポルトガル、スウェーデン、スイス、スペイン、トルコ、英国において、各国における使用のためにデザイン、製造、認可されたモニターに限り適用されます。この国際Philips保証はご購入された国の既存の保証責務を補完するもので、顧客としてのお客様の制定法上の権利に影響を及ぼすことはありません。

当保証は、お客様の製品お買い上げ日から有効となります。

12 ヶ月	アンドラ、オーストリア、ベルギー、キプロス、チェコ共和国、デンマーク、フランス、ギリシャ、ハンガリー、フィンランド、アイルランド、イタリア、ヒテンシュタイン、ルクセンブルグ、モナコ、オランダ、ノルウェー、ポーランド、ロシア、スロバキア、スロベニア、ポルトガル、スウェーデン、スイス、スペイン、英国
24 ヶ月	ドイツ、トルコ

Philipsヘルプデスクが製品に欠陥があると判断した場合、製品をお買い上げになった販売店にご連絡ください。他の国でサービスを必要とされる場合、または販売店がもはや存在しないか、Philips製品の取り扱いをやめている場合は、当社のヘルプデスクに連絡して問題解決のサポートを受けてください。

### 保証対象外

Philips保証は、本製品が取り扱いの指示通りに正しく取り扱われたことを前提とし、更にお買い上げ日、販売店名、モデル名、及び製品の製造番号などが記載されたお買い上げ当時の領収書またはレシート（正本）があることが条件となります。

Philips ファーストチョイス保証は、以下の場合には適用されません。

書類が変更されていたり、偽造されている場合。

製品のモデル名または製造番号が変更されていたり、削除、偽造などの疑いがある場合。

許可のない機関や個人により、本製品に修理、修正などが加えられたことがある場合。

落雷、水、火災、重い物体などが原因となる物的損傷(例えば、ディスプレイの破損、目に見える傷)などの事故により、本製品が破損した場合。

製浮フ乱用や誤用により発生した破損。

この保証は、製品に付属しないアクセサリには適用されません。

本製品の使用が認められていない特定地域や国家において、当該地域または国家の技術標準に準拠するために本製品に対し修正や調整を加える必要がある場合。本製品が特定地域や国家で使用可能であるかどうかは、あらかじめご確認ください。

使用する国の中で使用するよう設計、製造、認可、許可されていない製品の場合、Philipsグローバル保証条項が適用されます。

## 連絡先

無用な面倒を避けるために、Philipsヘルプデスクに連絡する前に、操作マニュアルをよくお読みになるか、[www.philips.com/support](http://www.philips.com/support) のWebサイトにアクセスして、追加サポートを受けることをお勧めします。

問題を速やかに解決するために、Philipsヘルプデスクに連絡する前に次の詳細を準備してください。

Philipsのタイプ番号

Philipsのシリアル番号

PC環境プロセッサ:

286/386/486/Pentium Pro/内部メモリ

オペレーティングシステムとバージョン(Windows, DOS, OS/2, MAC)

使用するメモ리카ードの種類とブランド(メモ리카ードのモデル、ブランド、メモリサイズ)

デジタルカメラの種類

ブランド、種類

デジタルカメラで使用するメモ리카ードの種類とブランド

次の情報を提供していただければ、プロセスがスピードアップします。

購入証明書(以下の情報を含む): 購入日、販売店名、モデルと製品のシリアル番号。

故障したモニタの引き取り場所と交換品をお届けする場所の完全な住所。

Philipsの顧客ヘルプデスクは、全世界にあります。ここをクリックして[ファーストチョイス連絡先情報](#)にアクセスしてください。

または、以下の方法でアクセスすることもできます:



Webサイト: <http://www.philips.com/support>

西欧:

国	電話番号	料金表
オーストリア	0820 901115	€ 0.20
ベルギー	070 253 010	€ 0.17
キプロス	800 92256	無料
デンマーク	3525 8761	市内通話料金表
フィンランド	09 2290 1908	市内通話料金表
フランス	08 9165 0006	€ 0.23
ドイツ	0180 5 007 532	€ 0.12
ギリシャ	00800 3122 1223	市内通話料金表
アイルランド	01 601 1161	市内通話料金表
イタリア	199 404 042	€ 0.25
ルクセンブルク	26 84 30 00	市内通話料金表
オランダ	0900 0400 063	€ 0.20
ノルウェー	2270 8250	市内通話料金表
ポルトガル	2 1359 1440	市内通話料金表
スペイン	902 888 785	€ 0.15
スウェーデン	08 632 0016	市内通話料金表
スイス	02 2310 2116	市内通話料金表
英国	0906 1010 017	£0.15

[ページトップに戻る](#)

---